吉島病院キャリアラダー

ラダー			ラダーⅠ		ラダーⅡ	ラダーⅢ	ラダーⅣ
ペナー			新人(おおよそ1～3年)		一人前(おおよそ4年～)プリセプター	中堅(おおよそ6年～)	達人(おおよそ10年目～)
到達目標			1. 社会人・組織人としての自覚を持ち行動できる 2. 専門職業人として生命倫理と人間の尊厳について考えることができる 3. 病院の理念・看護部の理念・方針を理解し自己の看護を考えられる 4. 部署での自己の位置づけを知り役割を果たす 5. 指導を受けながら安全、確実に看護実践できる 6. 医療経済の動きや病院の経営に関心を持ち、病院の経営方針に協力する		1. 専門職業人として生命倫理との人間の尊厳に基づいて行動できる 2. 病院の理念・看護部理念・方針に沿って、自己の看護観を言語化でき実践できる 3. 新人指導ができる 4. 自律して看護実践できる 5. 医療経済の動きに関心を持ち、病院の経営方針に協力する 6. 医療経済の動きや病院の経営に関心を持ち、ビジョンの経営に協力する	1. 自らが倫理感性を磨き、必要な関係者と連携し行動できる 2. 後輩(看護師・学生)指導ができる 3. 役割モデルとして看護実践できる 4. 看護部の方針に基づいた部署運営に関する企画に自己の役割を踏まえて主体的に参加する 5. 医療経済の動きに関心を持ち、病院の経営方針に協力する 6. 医療経済の動きや病院の経営に関心を持ち、病院の経営方針に協力する	1. 患者の生命や人権を尊重できる看護師を育成できる 2. 看護の質を向上させるための変革的な行動がとれる 3. 部署における教育的な関わりができる 4. 創造的な看護実践できる 5. 看護部門の方針に基づいた部署目標達成のために活動を推進できる 6. 医療経済を理解し、積極的に職場、病院の改革に参画する
能力考課	看護実践能力	レベル毎の定義	1. 基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する	2. 標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する	1. ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する	1. 幅広い視野で予測的判断をもち看護を実践する	1. より複雑な状況において、ケアの受け手にとっての最適な手段を選択しQOLを高めるための看護を実践する
		ニーズをとらえる力	1. 助言を得てケアの受け手や状況(場)のニーズをとらえる 1)助言を受けながらケアの受け手に必要な身体的・精神的・社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる 2)ケアの受け手の状況から緊急度をとらえることができる	2. ケアの受け手や状況を(場)のニーズを自らとらえる 1)自立してケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収取ができる 2)得られた情報をもとに、ケアに受け手の全体像としての課題をとらえることができる	1. ケアの受け手や状況(場)の特性をふまえたニーズをとらえる 1)ケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から個別性をふまえ必要な情報収集ができる 2)得られた情報から優先度の高いニーズをとらえることができる	1. ケアの受け手や状況(場)を統合しニーズをとらえる 1)予測的な状況判断のもと身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収取ができる 2)意図的に収集した情報を統合し、ニーズをとらえることができる	1. ケアの受け手や状況(場)の関連や意味をふまえニーズをとらえる 1)複雑な状況を把握し、ケアの受け手を取り巻く多様な状況やニーズの情報収集ができる 2)ケアの受け手や周囲の人々の価値観に応じた判断ができる
		ケアする力	1. 助言を得ながら、安全な看護を実践する 1)指導を受けながら看護手順に沿ったケアが実施できる 2)指導を受けながら、ケアの受け手に基本的援助ができる 3)看護手順やガイドラインに沿って、基本的看護技術を用いて看護援助ができる	2. ケアの受け手や状況(場)に応じた看護を実践する 1)ケアの受け手の個別性を考慮しつつ標準的な看護計画に基づきケアを実践できる 2)ケアの受け手に対してケアを実践する際に必要な情報を得ることができる 3)ケアの受け手の状況に応じた援助ができる	1. ケアの受け手や状況(場)の特性をふまえた看護を実践する 1)ケアの受け手の個別性に合わせて、適切なケアを実践できる 2)ケアの受け手の顕在的・潜在的なニーズを察知しケアの方法に工夫ができる 3)ケアの受け手の個別性をとらえ、看護実践に反映ができる	1. 様々な技術を選択・応用し看護を実践する 1)ケアの受け手の顕在的・潜在的なニースに応えるため、幅広い選択肢の中から適切なケアを実践できる 2)幅広い視野でケアの受け手をとらえ、起こりうる課題や問題に対して予測的および予防的に看護実践ができる	1、最新の知見を取り入れた創造的な看護を実践する 1)ケアの受け手の複雑なニーズに対応するためあらゆる知見(看護および看護以外の分野)を動員し、ケアを実践・評価・追求できる 2)複雑な問題をアセスメントし、最適な看護を選択できる
		協働する力	1. 関係者と情報共有ができる 1)助言を受けながらケアの受け手を看護していくために必要な情報が何か考え、その情報を関係者と共有することができる 2)助言を受けながらチームの一員としての役割を理解できる 3)助言を受けながらケアに必要と判断した情報を関係者から収集することができる 4)ケアの受け手を取り巻く関係者の多様な価値観を理解できる 5)連絡・報告・相談ができる	2. 看護の展開に必要な関係者を特定し、情報交換ができる 1)ケアの受け手を取り巻く関係者の立場や役割の違いを理解したうえで、それぞれと積極的に情報交換ができる 2)関係者と密にコミュニケーションを取ることができる 3)看護の展開に必要な関係者を特定できる 4)看護の方向性や関係者の状況を把握し、情報交換できる	1. ケアの受け手やその関係者、多職種と連携ができる 1)ケアの受け手の個別的なニーズに対応するために、その関係者と協力し合いながら多職種連携を進めていくことができる 2)ケアの受け手とケアについて意見交換できる 3)積極的に多職種に働きかけ、協力を求めることができる	1. ケアの受け手を取り巻く多職種の力を調整し連携できる 1)ケアの受け手がおかれている状況(場)を広くとらえ、結果を予測しながら多職種連携の必要性を見極め、主体的に多職種と協力し合うことができる 2)多職種間の連携が機能するように調整できる 3)多職種の活力を維持・向上させる関わりができる	1. ケアの受け手の複雑なニースに対応できるように、多職種の力を引き出し連携に活かす 1)複雑な状況(場)の中で見えにくくなっているケアの受け手のニーズに適切に対応するために、自律的な判断のもと関係者に積極的に働きかけることができる 2)多職種連携が十分に機能するよう、その調整的役割を担うことができる 3)関係者、多職種間の中心的役割を担うことができる 4)目標に向かって多職種の活力を引きだすことができる
		意思決定を支える力	1. ケアの受け手や周囲の人々の意向を知る 1)助言を受けながらケアの受け手や周囲の人々の思いや考え、希望を知ることができる	2. ケアの受け手や周囲の人々の意向を活かすことができる 1)ケアの受け手や周囲の人々の思いや考え、希望を意図的に確認することができる 2)確認した思いや考え、希望をケアに関連づけることができる	1. ケアの受け手や周囲の人々の意思決定に必要な情報提供や場の設定ができる 1)ケアの受け手や周囲の人々の意思決定に必要な情報を提供できる 2)ケアの受け手や周囲の人々の意向の違いが理解できる 3)ケアの受け手や周囲の人々に意向の違いを多職種に代弁できる	1. ケアの受け手や周囲の人々の意思決定に伴うゆらぎを共有でき、選択を尊重できる 1)ケアの受け手や周囲の人々の意思決定プロセスに看護職の立場で参加し、適切な看護ケアを実践できる	1. 複雑な意思決定プロセスにおいて、多職種も含めた調整的役割を担うことができる 1)適切な資源を積極的に活用し、ケアの受け手や周囲の人々の意思決定プロセスを支援できる 2)法的および文化的配慮など多方面からのケアの受け手や周囲の人々を擁護した意思決定プロセスを支援できる
	リーダーシップ・管理	人間関係	○判断に困る時、先輩・上司に相談できる ○悩みや困っていることを上司や先輩・同僚に報告できる		○新人とのコミュニケーションが図れ先輩看護師として相談にのることができる	○自己の考え・判断に基づき、解決の手立てを加えながらディスカッションできる ○メンバーと信頼関係を保ち協働意欲を高られる ○スタッフ・チームメンバーとの調整役がとれ、職場を活性化する	○部署全体の雰囲気作りにおいて中心的な役割を果たせる ○他職種有効に有効に活用してコーディネートできる ○場を適切に判断し、必要に応じて介入する ○コーチングスキルを活用した支援ができる ○周囲の人達と成熟した人間関係がとれる
		自己認知	○自己の傾向を認知する 1)他者のアドバイスを受け入れることができる　2)自己のできていることを認めることができる		○他者との関わりにおける自己の課題を明確にできる ○自己の傾向を認知し、発展的な解決策を見出すことができる	○自己洞察ができる ○洞察に加え柔軟な対応ができる	○洞察に加え柔軟な対応ができる
		リーダーシップ	○優先度を考えながらメンバーの役割ができる ○報告・連絡・相談ができる		○急変時の対応ができ必要に応じて指示・命令ができる ○自己の考え・判断を加えながら報告・相談ができる ○相手に要領よく正確に報告・連絡・相談ができる ○新人の指導ができる	○部署の問題を抽出し積極的に問題解決に向けて提案、改善できる ○報告・連絡・相談されたことに対して適切に助言できる ○スタッフの個性や自立性を尊重し、支援できる	○客観的な視点で部署を診断し活用化できる ○関連各部署との連携を強化し、協働、変革できる ○他者の行動変容に影響できる
		医療安全 (医療安全・感染管理・災害看護)	○指導を受けながら行動できる		○マニュアルに沿って状況に応じて対応できる	○防止対策について問題提起し検討することができる	○部門を超えて安全対策に積極的に取り組むことができる
	教育	自己研鑽	○自己のできている事、できていない事がわかる ○自己のできていないことを課題として捉えることができる ○自ら感性を向上させるために努力できる		○自己の目標を明確にし、具体的な対策を立て、実践できる ○部署での役割を通して、部署目標達成に参加し、達成のために努力できる ○社会人としての一般的な常識や視野を広げるための努力をしている	○役割を通して教育的な視点を養うことができる ○必要な知識・社会性に対して学習の場を自ら求めることができる	○教育に関するコンサルテーションができる ○看護部全体の教育活動を支援し、推進する
		院内外の研修への参加	○院内・外の研修に参加し、伝達できる		○参加した研修での学びを伝達し実践できる	○院内・外の有効な研修結果を臨床の実践に積極的に活用できる	○研修での学びを普及できるように教育プログラムを立案・実施・評価できる
		表現力	○自分の考え、思いを言葉で表現できる ○自分のできているところを認め、表現できる ○日々の看護の中で自分が大切にしていることが言える		○自分の考え思いを他者が理解できるように表現できる ○看護実践を通して自己の看護観を言語できる ○カンファレンスなどの場で、自己の看護観に基づいた援助について発言できる	○根拠に基づいて理論的に説明できる ○自分の考えを他者に伝えるための最良の方法を選択できる	○対象の能力に合わせたプレゼンテーションができる
	研究	看護研究	○日々の実践から問題意識を持つ ○部署の研究に関心を持ち、院内研究発表に参加する		○業務に対して常に探求心を持つことができる(先行研究を読む) ○院内・院外の研究成果に関心を持てる	○看護研究を計画し、スタッフと共に取り組むことができる ○院内・外の有効な研究結果を臨床の実践に積極的に応用することができる	○看護研究活動を推進し、助言できる
業績考課	仕事の達成度	仕事の量	○割り当てられた仕事を時間内に終える		○他のメンバーの仕事量を配慮し、全体状況を見ながらサポートできる	○メンバーの仕事が達成できるように調整できる ○部署外の活動においても一定の効果を出すことができる	○決められた仕事の量ができるように改善を行い、成果を上げることができる
		仕事の正確性	○基準・手順通りに仕事を行うことができる		○基準・手順どおりに仕事を行い、問題と感じたときは提言できる	○基準の見直し行い、積極的に改善案を提言できる ○安全の視点を持ち、インシデント・アクシデントレポートの分析ができる	○基準に基づいた仕事ができているか確認し、指導ができる
		仕事の迅速性	○仕事の優先度を考え、業務計画が立てられる		○能率的に決められた時間で仕事ができる	○仕事が速く、他のメンバーの仕事がサポートできる	○仕事が能率的に行えるようコツを伝えることができる
		仕事の改善・創意工夫	○効果的に業務を行うための問題意識を持つことができる		○効果的に業務を行うための提案ができる	○効果的な業務を行うために創意工夫ができる	○他部門・他施設との調整を行い、業務の改善を推進する
	経済・原価意識	医療材料の適切な使用	○医療材料の値段を知る		○医療材料の効果的な使用を考える	○医療材料の適切な選択ができる	○病院経営の観点を持ち、スタッフに指導ができる
		ランニングコストの低減	○ランニングコストがどのようなところで発生しているか知る		○適切な器具の取り扱いができる ○無駄なランニングコストを削減できる	○ランニングコスト削減を指導できる	
		看護行為のコスト化	○看護行為とコストを結び付けて考えることができる		○看護行為のコスト化を認識しながら実践する	○自院の水準の向上に繋がるような、CP・標準看護計画の作成ができる ○コストに見合った看護行為ができるよう指導する	
執務態度考課	専門職としての自律	倫理観	○看護職の倫理綱領を行動の規範とする ○日々の看護実践から看護とは何かを考えられる ○看護職の倫理綱領について知っている ○患者の尊厳を考えながら実践できる		○看護職の倫理綱領を行動の規範とする ○看護の本質的意味を考えられる ○病院の理念・方針を理解し、自己の看護と結び付けて行動できる ○医療看護の倫理と現実の中で経験したジレンマに対して、対処に努めることができる	○看護職の倫理綱領を行動の規範とする ○医療看護の倫理と実現の間のジレンマを客観的に考察し、対処に努めるとともに、後輩に対して助言ができる	○看護職の倫理綱領を行動の規範とする ○患者・家族が遭遇する生命倫理と現実のジレンマを察知し、助けることができ、医療チームの調整ができる
		積極性	○担当する仕事の知識を得ようとする意欲がある ○解らないことは進んで助言を求めることができる		○障害や困難に直面しても粘り強く取り組むことができる ○新しい仕事にも積極的に取り組むことができる	○仕事の量的、質的拡大に対して挑戦できる	○旺盛な意欲と熱意で業務に取り組み新しい考えや改善策を出すことができる
		責任感	○指示された仕事を限られた期限までに行うことができる ○仕事は確認して誤りのないようにできる		○与えられた仕事を他人に依存することなく、最後までやり遂げることができる ○失敗を責任転嫁することなく遂行できる	○仕事の失敗の原因を追究し、改善案・代替案を検討できる	○仕事を全うできるような職場風土を築ける
		規律性	○組織の服務規則の重要性を理解し実践できる ○病院の理念・方針を理解できる		○服務規程、接遇に対してセルフコントロールできる	○規範となるような行動がとれる	○模範となるような行動が取れる
		協調性	○誰とでも協力して仕事を進めることができる		○他人の意見も受け入れて協力できる	○相互で納得できるような結論を導き出せる	○チームワーク全体とグループダイナミクスを活用できる
		マナー	○基本的な挨拶ができる ○身だしなみがきちんとしていて清潔感がある		○TPOを考慮した適切な言葉使いができ、他者からも好感を持たれている	○TPOを考慮した適切な言葉使いができ、他者からも好感を持たれている ○専門職として規範となれる	○TPOを考慮した適切な言葉使いができ、他者からも好感を持たれている ○専門職として規範となり、指導ができる
		健康管理	○自己の生活を健康的に整えることができる ○心身の体調が不調な時に早めに上司に相談できる		○自己の体調が不調な時に早期受診ができる	○後輩が心身のコントロールができるように配慮ができる	○スタッフが心身共に健康な状態で仕事ができるよう調整できる

ラダー別 研修

ラダーⅠ② 多重課題シミュレーション

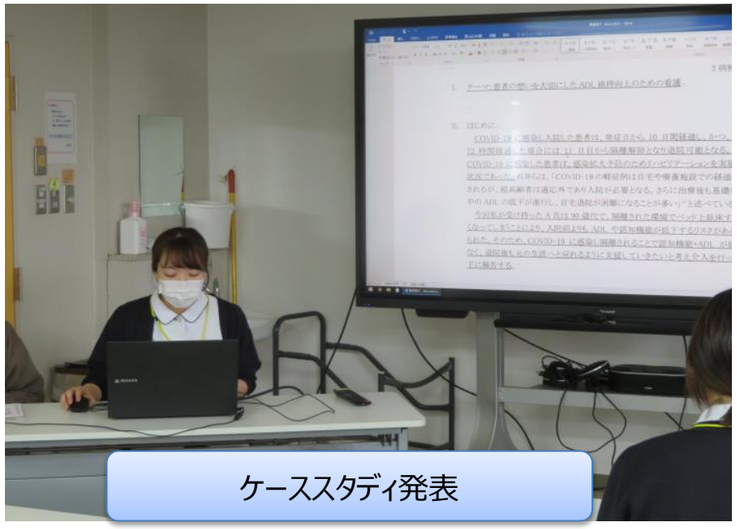
ラダーⅡ リーダー業務

ラダーⅢ・Ⅳ 臨床推論

経年別 研修（卒後2年目・3年目）

卒後2年目研修

認定看護師によるシリーズ研修
結核研修
訪問看護実践
ケーススタディ発表



卒後後3年目研修

プリセプターシップ研修
広島記念病院合同研修

プリセプターシップ研修

新人看護師へ
人工呼吸器装着中の看護を
根拠をもって説明できる

広島記念病院合同研修

施設紹介・施設見学
事例検討を通して自己の
看護観を伝える